

新時代の物流に関する研究会について（たたき台）

R6.1.25時点

目的

2024年問題、EC宅配物流の急増、過疎地域での配送効率の低下等、様々な物流課題の解決のためには、先端技術を導入し、またその際に顕在化する課題への対応が重要であることから、物流に関する多様な主体が連携・協働し、**定期的な意見交換会・研究会を通じて、物流の問題認識の共有化、テーマ別のグループ組成、実証実験等を行いながら、共助・公助の両輪による強靱かつ持続可能な物流ネットワークの構築や国への政策提言等を図る**

体制

座長：奈良先端大学科学技術大学院大学 教授 門林 雄基
副座長：NEXT Logistics Japan (株) 会長 下 義生
事務局：京都府総合政策環境部 地域政策室
メンバー：物流に関係する関係事業者、自治体、研究機関等

想定課題

- 自動走行による広域輸送開始への対応
- 過疎地域まで含めた物流網構築への対応
- 基幹・地域物流拠点の機能強化への対応

意見交換会、現地視察を適宜開催し、協働連携のあり方と分科会組成を深化

キーワード

「効率化」「DX化」「セキュリティ」「脱炭素」「安心安全」

京都府は全国の物流の縮図！

